



令和6年 1月19日  
御前崎市立さくらこども園

## 新しい年が始まりました。今年もよろしくお願いたします。

早くも1月後半。吹く風は冷たくても、春を告げる草花は小さな花を咲かせ、少しずつ春を迎える準備を始めているようです。

今年のお正月は、穏やかで温かくて、いいなあと思ったのも束の間、夕方に能登半島地震が発生しました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

被災地ではたくさんの方が亡くなり、日常が奪われて大変な生活を強いられ、その気持ちは想像を絶するものです。当たり前のように送っている日常がどれだけ有難く、尊いことか思い知らされます。

「ありがとう」は感謝の気持ちを表す代表的な言葉です。漢字では「有難う」と書き、「有り難し」という意味で、「あることが難しい、稀である、滅多にないことに巡り合う」すなわち「奇跡」ということなのだそう。

そして、その反対語は「当たり前」「当然」。

私たちは、毎日起こる出来事を「当たり前」だと思って過ごしていることが多いと思いますが、大きな災害を通して、これまでの「当たり前」は当たり前ではない、これまではたいして気にも留めずにしてきたこと、できていたことが「有り難いこと」だったのだと気づかされます。

年末年始をお家でゆっくり、そしてたっぷり楽しんだ子ども達の園での新年のスタートはとっても元気でした。「おはよう！」の挨拶がとても気持ちがよく、それだけで「子ども達からは元気をもらうなあ」としみじみ思い、そう思わせてもらえることを幸せに感じました。

幼児部の子ども達の始業式では「3学期は短いよ。3学期が終わると、みんな一つ大きくなるよ。楽しみにしながら、いっぱい遊ぼうね」そのために「早く寝て、早起きて、朝ごはんをしっかり食べよう！」「元気なあいさつをしよう！」「病気になるない、事故にあわないようにしようね！」と話しました。

乳児部の子ども達にも、早寝・早起き・朝ごはん、あいさつの気持ちよさ、病気や事故の予防は大切なことです。

「1月に行く、2月は逃げる、3月は去る」などという言い方をしますが、この時期は毎日が忙しく、あっという間に過ぎてしまいます。学年の締めくくりでもあるこの時期は、3・4・5歳児の子ども達は進級、入学への期待が意欲につながり、0・1・2歳児の子ども達の動き、言葉などには可愛らしい中にも逞しさを感じたりして、ますます大きくなったと実感するようになってきます。子どもたちが今までに身に付けてきた力を十分発揮しながら、友達や先生達と充実した楽しい生活を過ごせるようにしたいと思います。



### 嘔吐や下痢のなど胃腸の症状での、欠席や早退が多いです。

#### 【下痢について】

下痢のほとんどは、ウィルス性の感染症です。症状が治まった後も1週間から1か月間は便にウィルスが排出され続けるものもあります。

下痢、腹痛、嘔吐などは、感冒性胃腸炎の症状としても多く確認されています。

園で子ども達は手洗い、うがいをし、感染予防をしています。全てのウィルスがなくなることはありません。子どもは口や鼻に手を持っていたり、食べ物を手づかみで食べたりすることが多いので、ウィルスを体内に取り込むリスクが高いです。

また、長時間にわたって集団で過ごすこども園ではウィルスが拡がりやすく、重症化してしまうお子さんもいます。症状が出ている間は登園を控え、自宅で療養してください。

- 嘔吐物で汚れた衣類や寝具を水で濯いだり、洗ったりすることにより、感染症が拡大してしまう恐れがあります。園で嘔吐してしまった場合は、汚れた衣類や寝具は水で濯がずにお返しします。ご承知おきください。

### 2月8日(木) 参観会の時間変更についてのお知らせ

【2歳児】 10時00分 ～ 11時00分

【5歳児】 10時00分 ～ 11時00分 に変更します。この他の学年は、変更はありません。